

日時 令和3年5月18日(火) 13:30~14:40

会場 藤枝市役所西館5階 第3・4委員会室

オンライン開催(一部、会場参集)

出席者 委員14名(定員15名 1名欠席)

事務局5名

議事・報告事項

(1) 第4次行動計画の策定方針(骨子案)について

委員	<p>基本的施策の方向性の「②男性の家事・育児への参画のため、ワーク・ライフ・バランスを推進すべく、ICTの活用や在宅勤務、フレックス制度の導入等、働き方改革を推進する取組を行います」とあるが、在宅勤務は、他にサテライトオフィスやモバイルワーク等もあるので、より広い概念である「テレワーク」という表現がよいのではないか。</p> <p>また、フレックス制度は、プラス面だけでなくマイナス面もある。フレックス制度は導入すると働き方の柔軟性が高まるが、夜型になってしまったり残業時間が増えたりしがちである。「男性の家事・育児への参画のため、ワーク・ライフ・バランスを推進すべく、ICTの活用やテレワークの導入等、働き方改革を推進する取組を行います」としてはどうか。</p>
事務局	<p>基本的施策の方向性の文言と記載方法については、ご指摘があった通りである。フレックス制度については、マイナスの面もあるため記載方法の見直しを行う。</p>
委員	<p>基本目標と目標達成に向けた基本的施策の「②働き方改革とワーク・ライフ・バランスの促進」とあるが、日本の職場は上下関係がきついため、もっとフラットでもよいと考える。職場でパワハラがあると家庭での虐待やDVにも繋がるし、上司が残業をやる人だと部下は早く帰宅しづらくなる。日本の職場はもっとフラットになるべきだが、このことについてどう盛り込んでいくのか。</p>
事務局	<p>確かに日本の会社は未だに体育会系であり、上下の関係が続いている会社があると文献があるので、現状と課題の「4仕事と家庭の両立の困難」の部分に、その旨を入れたいと思っている。</p>
委員	<p>現状と課題の「5女性など弱い立場の人への暴力や無理解」とあるが、「女性や子ども等」と文言を変更してはどうか。また、基本的施策の3の「①ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶及び被害者の支援」とあるが、ジェンダーだけではなく、「あらゆる暴力の根絶及び被害者の支援」にしてはどうか。</p>
事務局	<p>女性等の弱い立場の人への暴力や無理解については、子どもは虐待の再生産という形に繋がっていることは承知している。事務局の意図は、男女共同参画ということで、「女性」をメインに据え、子どもや性的マイノリティも含めて「等」でまとめましたが、再検討していく。</p> <p>また、「①ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶及び被害者の支援」については、ジェンダー間に基づく困難から導き出される暴力があったので、このような記載をした。こちらの文言についても再検討をしていく。</p>
委員	<p>女性も活躍できる社会になる一方で、今でも小さい頃は母親のもとで育てるのが良いと言われていた。藤枝市は子ども園という制度が充実していてありがたい。小さい子どもの子育ては、母親がよいという意識を変えていくように働きかけをしてほしい。子育てをコミュニティで応援する、コミュニティで育てる、という意識に変えていけたらいいと考えている。</p>
事務局	<p>国でも男性の育休取得を促進する取組も進んでいる。少子化対策の観点から、親や子ども達を支えていく仕組み作り、具体的にはコミュニティで育てる、保育園に入りやすくなる取組に加えて、父親に対してどう育児に関与していくべきかを教える講座(パパママ講座)などを引き続き実施するとともに、よりよいものにしていければと考えている。</p>
委員	<p>現状と課題の項目の「セクシュアルハラスメントを経験したことがある人は男性2.5%で女性19.6%」や「DV被害経験者は女性で5.7%、男性で3.1%」となっている。DVを「直接経験したことがある」の表現についても、%で記載してはどうか。</p>
事務局	<p>記載させていただく。</p>